

2019年5月
No.19-058a(本)※5

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、
この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。
取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

■新規受託項目

- [-] 男性 AIRS(8種)
- [-] 女性 AIRS(9種)

※検査要項の詳細は裏面をご参照下さい。

■受託開始日

- 2019年5月7日(火)

※今回の新規受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

頁	項目コード	検査項目名	受託中止日
140	—	男性 AIRS	2019年6月27日(木)
140	—	女性 AIRS	ご依頼分をもって受託中止

AIRS(アミノインデックス® リスクスクリーニング)

1回の採血で、血液中のアミノ酸バランスから、現在・将来のさまざまな疾患リスクを一度に評価する検査です。新たに『10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク』の評価が追加され、三大疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞)のリスク評価が可能になりました。

■検査要項

項目コード	-	-
検査項目名	男性 AIRS(8種)	女性 AIRS(9種)
検体量	血液 各5mL (容器番号:14) ↓遠心 血漿 各0.5mL (容器番号:02)	
保存方法	必ず凍結保存してください	
所要日数	10~14日	
検査方法	LC/MS	
備考	重溶 検体取扱方法は下記をご参照ください。本項目は、血液中のアミノ酸濃度から、最終委託先(味の素株式会社)にてデータ解析することにより、AICS [®] 及びAILS [®] を報告する検査です。なお、本検査結果はその他の検査結果を考慮して総合的に判断してください。	
検査委託先	エスアールエル(→5)	

●AIRS[®](AminoIndex[®] Risk Screening)とは

アミノインデックス[®]を用いて1回の採血で、血液中のアミノ酸バランスから、現在・将来のさまざまな疾患リスクを一度に評価する検査です。

●AICS[®](AminoIndex[®] Cancer Screening)とは

アミノインデックス[®]を用いて、現在がんである可能性を評価する検査です。

男性 AICS5種: 胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん

女性 AICS6種: 胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)・卵巣がん

●AILS(エーアイエルエス)(AminoIndex[®] LifeStyle diseases)とは

血液中のアミノ酸濃度バランスから、10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスクと、4年以内に糖尿病を発症するリスクおよび、大切な栄養素である必須・準必須アミノ酸が現在血液中で低下していないか評価し、検査結果に基づくI~IVのタイプを報告します。また、このタイプをもとに、生活改善評価情報が提供できます。

なお、AILS(エーアイエルエス)単独での受託はできません。

●アミノインデックス[®]とは

アミノインデックス[®]は、血液中の各種アミノ酸濃度のバランスから、現在の健康状態や病気の可能性を明らかにする検査です。アミノインデックス[®]の解析は、味の素(株)に委託して解析されています。

●受託における注意点

AIRS_®は下記年齢の日本人(妊娠されている方を除く)を対象として開発された検査です。これらの方以外は評価対象外となります。

検査項目		評価対象	対象年齢
男性	AICS(5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25歳～90歳
		前立腺がん	40歳～90歳
女性	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	30歳～74歳
		4年以内に糖尿病を発症するリスク	20歳～80歳
女性	AICS(6種)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	25歳～90歳
		胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	20歳～80歳
	AILS(脳心疾患リスク)	子宮がん・卵巣がん	30歳～74歳
	AILS(糖尿病リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	20歳～80歳
		4年以内に糖尿病を発症するリスク	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ

*脳卒中・心筋梗塞の方(治療中も含む)の AILS(脳心疾患リスク)値、糖尿病の方(治療中も含む)の AILS(糖尿病リスク)値や検査結果に基づくタイプは評価対象外となります。

- ・妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療中を含む)の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、検査結果に影響があるため、検査の実施はご遠慮ください。
- ・検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂取せず、午前中に採血してください。
(検査前日の高タンパク質の食事も避けてください)また、当日朝の運動はお控えください。
- ・薬剤による本検査への影響はわかつておりません。
- ・他項目との重複依頼は避けてください。
- ・強溶血検体や、血漿(EDTA-2Na)以外の材料での、受託はできません。
- ・ご依頼の際は性別・年齢を必ず明記してください。

●検体のお取り扱いについて

1. EDTA-2Na 入り採血チューブにて血液約 5mL を採取してください。
2. 採血直後、血液を 2～3 回軽く転倒混和してください(ローラーでの混和は行わないでください)。
3. 混和後直ちに(1 分以内)採血チューブを氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)で冷却(15 分以上、遠心操作まで冷却)してください。
4. 採血から 8 時間以内に冷却条件で遠心分離(4°C、3000 回転、15 分)または通常遠心分離(3000 回転、15 分、ローターが昇温していないこと)してください。
5. 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注してください。
6. 分注後、血漿を 4 時間以内に凍結保存してください。

■参考文献

Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24:683–691,2010(検査方法文献)